

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区鹿浜第一小学校 校長 中郡 英一

1 学校教育目標

- ① よく考えて進んでやりぬく子（自主的に考え、根気よく問題を解決する力を育てる。）
- ② あかるく強くたくましい子（豊かな心情、強健な身体、健全な生活態度を身に付ける。）
- ③ みんな仲よく助け合う子（社会性、協調性を育て、勤労の精神を培う。）

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲高め、豊かな感性や想像力を養うとともに幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を取捨選択して課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整えることで、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12327 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 118.98%（前年度末 119.2%）									
	② 新規購入図書 795 冊 ／ 廃棄図書 814 冊 ／ 増減冊数 -19 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	1%	8%	7%	12%	5%	3%	7%	3%	52%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み・昼休み（月・木）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 33.99 冊（前々年度末：29.7 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 76.17%（前々年度末：77.3%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12696 冊（蔵書基準冊数 10760 冊）／ 蔵書率 118.0%									
	② 新規購入図書 646 冊 ／ 廃棄図書 277 冊 ／ 増減冊数 369 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.1	1.2	6.9	7.0	12.1	5.2	3.4	6.8	2.9	51/4
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9:15～16:00（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 38.0 冊（前年度末：33.99 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 78.3 %（前年度末：76.17 %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 読みやすい読み物に興味をもち、進んで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ol style="list-style-type: none"> ① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 各クラスに月に2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況

<p>① 週1回の図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、図書支援員の読み聞かせを聞いたりして、本への興味・関心が高まった。</p> <p>② 読書旬間などを活用し、95%の児童が年間50冊以上の本を読むことができた。</p> <p>③ すべての学級が図書の学習の初回時に、図書支援員より図書室の使い方を教わり、使い方をしることができた。</p>	
第2学年	<p>① いろいろな読み物に興味をもち、進んで読書しようとする意欲を育てる。</p> <p>② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。</p>
今年度の成果目標	
<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。</p>	
今年度の成果目標	
<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③ ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が50%以上</p>	
目標達成状況	
<p>① 週1回の図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、図書支援員の読み聞かせを聞いたりして、本への興味・関心が高まった。</p> <p>② 読書旬間などを活用し、95%の児童が年間50冊以上の本を読むことができた。</p> <p>③ 国語の学習と関連させて、図鑑や科学的な読み物を活用することができた。</p>	
第3学年	<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③ ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が50%以上</p>
今年度の成果目標	
<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③ ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が60%以上</p>	
目標達成状況	
<p>① 各クラス月2回以上、図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、調べ学習に図書を活用したりして、本への興味・関心が高まった。</p> <p>② 読書旬間などを活用し、90%以上の児童が年間30冊以上の本を読むことができた。</p> <p>③ 50%以上の児童が、調べる学習コンクールに応募した。国語や社会の調べ学習を通して、学校図書館を活用し探究活動や表現方法を身に付けることができた。</p>	
第4学年	<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③ ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が60%以上</p>
今年度の成果目標	
<p>① ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>② ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③ ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が60%以上</p>	
目標達成状況	
<p>① 各クラス月2回以上、図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、調べ学習に図書を活用したりして、本への興味・関心が高まった。</p> <p>② 読書旬間などを活用し、90%以上の児童が年間30冊以上の本を読むことができた。</p> <p>③ 調べる学習コンクールに参加した児童は、96%であった。学校図書館を利用し、調べ方を学んだり、引用の方法を知ったりするなど、様々なまとめ方を身に付けることができた。</p>	

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が70%以上

目標達成状況	
① 各クラス月2回以上、図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、調べ学習に図書を活用したりして、本への興味・関心が高まった。 ② 読書旬間などを活用し、85%以上の児童が年間30冊以上の本を読むことができた。 ③ 調べる学習コンクールへの参加率は、96%であった。学校図書館を利用し、調べ方を学んだり、引用の方法を知ったりするなど、様々なまとめ方を身に付けることができた。	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する児童の割合が70%以上

目標達成状況	
① 各クラス月2回以上、図書の時間において、自分の好きな本を読んだり、調べ学習に図書を活用したりして、本への興味・関心が高まった。 ② 読書旬間などを活用し、85%以上の児童が年間30冊以上の本を読むことができた。 ③ 調べる学習コンクールへの参加率は、100%であった。学校図書館を利用し、調べ方を学んだり、引用の方法を知ったりするなど、様々なまとめ方を身に付けることができた。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を11月までに完了させる。 ② 昨年度の廃棄図書から、蔵書構成を念頭においた新規著書購入計画を8月までに作成する。 ③ 「新聞の記事の紹介、読み方」の掲示をさらに充実させる。	① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業は11月までに完了した。 ② 昨年度の廃棄図書から、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を7月までに作成した。 ③ 新聞記事の切り抜きは、2か月に1度程度で内容を新しくした。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 低学年を中心に各学級に学校図書館オリエンテーションを実施し、読み語り等、支援員との連携・協働に取り組む。 ② 授業に必要な教材や資料について支援員への相談や情報交換を行う。 ③ ボランティアや学校図書館支援員との連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実施する。 ④ 学校図書館支援員の勤務日には、休み時間にも学校図書館を開館する。	① 低学年を中心に学校図書館オリエンテーションを実施し、学校図書館の活用に関するプリント「学校図書館へようこそ」を全学年に配付した。読み語りなどを通して、支援員の積極的な連携・協働に取り組むことができた。読み語りをした本や展示した本は、貸し出しにつながった。 ② すべての学年で、支援員に資料収集や

	<p>レファレンスなどの依頼をし、情報交換を行うことができた。</p> <p>③ ラベルの貼り替えや図書館の環境整備、読み語りなどをPTAのボランティアの方と連携し、行うことができた。</p> <p>④ 学校図書館支援員の勤務日には、授業時間の他に中休み・昼休みに学校図書館を開館することができた。図書委員の企画「本のおみくじ」を実施することができた。</p>
<p>【その他】</p> <p>① 読書量の確保のため、各学級に学級文庫として本を貸し出す。</p>	<p>① 年間を通して各学級に約40冊ずつ学級文庫として本を貸し出し、学級文庫の入れ替えを年に2回行い、児童の読書量の確保をすることができた。</p>

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

学校図書館支援員と図書担当教諭が協力しながら、読書活動の推進に取り組んだ。その成果として、年間の貸出冊数が増え、読書に親しむ児童の数が昨年度よりも増えた。また、調べる学習コンクールへの参加も呼びかけ、学校図書館を活用して探究活動を進めることで、課題解決する能力を育成することにつながった。

一方で、読書量の少ない児童や読書の幅が広がらない児童、発達年齢に応じた本を読もうとしない児童、調べ学習の仕方を身に付けていない児童がいる。そのような児童に対して、読書の面白さを伝えたり、調べ学習の仕方を身につけさせたりする効果的な方法を学校図書館支援員と協力して検討していく必要がある。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

読書の幅が広がらない児童の興味をひくために、図書委員会などの活動とも絡めながら、学校図書館を活用した授業やイベントを実施し、児童が学校図書館に関わり、読書に親しむ機会を増やしていく。そして、学校図書館支援員と相談や情報を引き続き行い、学校図書館資料の整理や更新及び図書館の展示や掲示の充実を図り、児童がより利用しやすい学校図書館環境を整備する。

また、教職員の学校図書館活用における意識にばらつきがあるため、学校全体に学校図書館基本計画などの学校の方針を浸透させることで、連携・協働しながら学校図書館運営を進めていく。

これらの取り組みにより、学校図書館の「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての機能向上を実現し、児童が主体的に学校図書館を活用して、読書・学習し、創造的な活動を行う環境を目指していきたい。